

2021年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493400129	事業の開始年月日	平成16年6月1日	
		指定年月日	令和1年6月1日	
法人名	ALSOK介護株式会社			
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3			
所在地	(246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢4-28-8			
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	令和3年11月15日	評価結果 市町村受理日	令和4年2月21日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームの周囲は閑静で近くに公園があります。お散歩や四季ごとに咲く花を楽しむことができます。
敷地内ではミニ農園と名付け利用者様と一緒に野菜や果物を育てています。収穫したものは食事やおやつにしたり近隣の方へお配りしています。
一つ屋根の下、との考えを持っており入居されている方々全員での交流を図っております。
合同でのレクリエーションや同じ趣味を持つ方との個々の交流も盛んです。
健康維持として弊社オリジナルの体操を訪問とリモートで定期的に行っており、そのコンテンツのひとつ、ALSOKあんしんヨガはインストラクターが2名在勤しておりますので食事前や就寝前などの短い時間にも行っています。
ボランティアによるハーバリウム教室、キャットセラピーを行っておりホーム以外の方々との交流も図っています。
良い意味での『自分らしく、わがママが言える、もうひとつの家族』として今までと変わらなく過ごせるご生活を支援させて頂いています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和3年12月17日	評価機関 評価決定日	令和4年1月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは、相鉄線「瀬谷」駅からバスで約10分、「ひなた山バザール前」で下車、徒歩約5分に位置しています。近くに閑静な公園や林、畑などもあり、利用者の散歩コースにもなっています。また、周辺のコンビニエンスストアやホームセンターなども徒歩圏にあります。ホームの2階から富士山の景観が望めます。2階建て、居室数18、定員18名の認知症高齢者のグループホームです。
<優れている点>
新型コロナウイルス感染防止のために中止しているイベントもありますが、系列の全事業所参加のNoA エクササイズやいきいきリズム体操をZOOMで行っています。呼吸法を大切に体を動かしています。また、インストラクターの資格を有するホーム職員も利用者に向けてヨガやリズム体操を行っています。リズムに合わせて言葉の発声、手、足を動かして利用者の健康維持に取り組んでいます。ボランティアによってハーバリウム教室やキャットセラピーを行っています。趣味の活動や猫との関わりで、利用者の生活に潤いや精神的癒しをもたらしています。
<工夫点>
ホームからスタッフブログを週2回、発信しています。ホームの行事や活動、利用者の様子など写真を多く取り入れた内容となっています。また、毎月、「GHみんなの家・横浜宮沢3通信」を作成し、A3版両面に情報を掲載し、発信しています。直近の利用者の活動状況などを内容としています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	2022/2/21		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	1Fスタッフステーション、2Fキッチンに掲示しています。 利用者様を笑顔にするためには職員が笑顔でいること。みんなで笑いあえることを目標にしています。	法人の理念に則り、別にホームの理念を定めています。「一日10回笑わせよう！一緒に笑おう！」を掲げ、利用者が毎日を楽しく過ごしていただくことを目標にしています。理念や行動指針などを掲示し、職員への浸透を図っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	本年度は新型コロナウイルス感染防止の為、敷地外にはほとんど出れていません。敷地内で外気浴や農園作業をしている時に、お会いできた地域の方へ積極的にご挨拶しています。	通常の年は、自治会の行事や災害訓練などに随時参加しています。自治会の情報は、回覧板によって把握し、適宜に自治会活動に参加しています。また自治会の回覧板でホームの行事・活動を近隣の人たちにも周知し、理解を図っています。	学校との相互交流が、実現できるように検討が期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会への加入 リモートがほとんどですが地域緩和ケア、コピナビセミナー等へ出席し情報共有を行いホームでの支援に役立てています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	本年度は新型コロナウイルス感染防止の為、開催できておりませんが開催予定月には活動状況報告書を書く担当の方々へ郵送し報告とさせていただきます。	今年度は、コロナ禍のため委員が出席のもとでの会議は、自粛となっています。奇数月ごとに活動状況などを記述の資料を送付し、委員から意見・要望及び、地域の情報提供などを受け、サービス向上に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	必要時は感染対策を十分に行ったうえで区役所に出向いています。 生活保護を受けられている方々については支援担当者として電話にて情報共有を行っております。	所管課とは、介護保険申請などで連絡を交わしています。また制度改正などの情報を所管課及びホームページ等から収集しています。区内グループホーム連絡会などに出席し、運営や活動などについて情報交換を行い、参考にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	年4回の身体拘束委員会、研修は年2回行っております。	身体拘束委員会を年に4回、身体拘束に関わる職員研修を年に2回開催しています。「身体拘束等の適正化のための指針」が整備されています。報道があった他事業所などの不祥事について、朝礼などで話題にし、同様のことが発生することのないよう職員に注意喚起を促しています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年4回の身体拘束委員会とは別に、高齢者虐待防止委員会を開催しております。研修は年1回行っております。	高齢者虐待防止委員会を年に4回、研修会を1回開催しています。「虐待ゼロへの行動指針」を整備し、指針を事務室に掲示しています。職員は、勤務につく前に指針を読み上げ、確認のため押印をしています。虐待ゼロの徹底に取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要な際はすぐに対応できるように体制を整えております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時に十分に時間を取り、説明させて頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	本年度は新型コロナウイルス感染防止の為、開催を見合わせております。少なくとも隔月にはお電話にて個別に連絡をさせて頂いております。小さなことでも変化があればその都度お伝えしております。	通常は、家族会を年に2回、行事（クリスマスや夏祭りなど）に合わせて開催しています。今年度は、コロナ禍のため開催していませんが、隔月ごとに家族へ電話で利用者の状況やホームの活動などについて伝え、意見交換を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員全員が情報共有できる環境を目指しています。 新型コロナウイルス感染防止の為、全員での会議は難しいので各フロア代表者2名ずつで情報交換しています。議事録は全員が閲覧出来る様にしています。	コロナ禍のため、通常的全職員出席のもとでの開催ではなく、各フロアから2名ずつ出席の中で、意見交換・協議を行っています。また、ホーム長は、個別に職員から意見・提案を日常的に聞くことを心がけています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個別に面談を行っています。 出退勤時には必ず声をかけコミュニケーションを図るようにしています。 仕事だけでなくプライベートな話もしやすい雰囲気を作る様に心掛けています。	職員理念を「相手を思い合う心と心、素敵です♪」などの3項目を掲げています。ホーム長は、職員の出・退勤時に必ず声掛けをし、コミュニケーションを図るようにしています。職員がプライベートの話もし易いように心がけています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修予定表や届いたFAXを掲示しています。 社内だけでなく市町村で行う研修も回覧しています。日々の支援の中では、その都度アドバイスをしたり個別にも指導しています。	ホームで実施する研修は、主にフロアごとに日を分けて実施しています。法人本部から提供の参考資料も活用し、研修効果を上げています。行政からの研修及び、資格取得の研修（サービス管理者研修）などについて該当職員に推奨・支援しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	区で行われている地域密着型連絡会に参加しています。 区同士の合同連絡会や横浜市の連絡会にも出来る限り参加し情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に面談に伺わせて頂き、ご本人・ご家族様と対話させて頂いています。 入居に対し安心して頂けるために重部員な情報を頂ける様にしています。 ご入居後も大きな変化なく過ごして頂ける様に支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	お問い合わせがあった際には入居までの経緯やグループホームでのご生活について順を追ってお話をさせて頂いております。ご不明な点はお電話でもご連絡を頂き安心して頂ける様にご説明させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居当時は慣れない環境で戸惑う事もあると思いますので、お気持ちを汲み取りながら接しています。他者様とのコミュニケーションを図る際は橋渡しができるように支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々関わりながら、どの様なお気持ちか受け止められる様に接しています。ご趣味やお得意な事、やってみたいこと等を伺い一緒に楽しんだりチャレンジできる関係を築いていっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月お送りする『宮沢3だより』や個別にお送りする『ひとこと通信』で様子をお伝えしています。面会が難しかった間はお電話でもお伝えしていました。差し入れが届いたときはご本人様と一緒に撮影しは絵葉書にしてお送りしています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ご家族以外との面会が叶わず、文通や電話にて交流をお願いしております。外出も控えて頂いておりますが、ご納得頂ける様にゆっくり説明しております。	家族には感染防止策を十分に備えて利用者との面談が出来るように支援しています。家族以外の方とは電話や文通で交流を行っている利用者もいます。ホーム内で誕生日会やクリスマス会、夏まつりなど季節ごとの行事で楽しめるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	外出がままならない分、お互いのフロアを行き来することで交流を図っています。 合同レクリエーションも月に2～3回行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	今後のご生活の中で必要な事があればご連絡を頂ける様にしています。 退去後に知り合いに方の入居相談のご連絡を頂いたこともあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	おひとりごとのコミュニケーションを心掛けています。会話の中からもご意向を伺いお子持ちに沿った支援を行っています。伝えることが困難な際は表情の中からもお気持ちを汲み取れるようにしています。得た情報は職員全員で共有しています。	利用者がホームを「自分らしくわがままが言えるもう一つの家族」として、快く生活できるようにとの思いをもって、職員は支援しています。利用者が日常の中で発した意向などは、生活記録に記述し、職員間で共有・支援できるようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談でご本人だけでなく、ご家族様や医療関係から頂いた情報を共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴や診療情報を把握し、健康管理表や生活記録からも日々の状況や変化に気付ける様に申し送りを行い情報共有しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月カンファレンスを開催し状況把握やケアの方向性を話し合い支援を行っています。 介護計画作成時にはご本人、ご家族様からの意向を伺い作成しております。 心身の状況変化が見られた際は都度見直しております。	毎月のカンファレンスには原則として職員全員が出席し、利用者一人ひとりのケアのあり方を話し合っています。本人がカンファレンスに参加し、希望を述べる機会もあります。 介護計画のモニタリングの際には家族の意向を電話などで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は生活記録、健康状態は健康管理表に記載し職員間で情報共有を行っています。 申し送りの内容状況によって介護計画書の見直しも行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアの訪問を見合わせて頂いています。 法人内でのシニアセラピー、リモートを使っての体操やカルチャー、音楽鑑賞などご要望に応じられるように対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ホーム周辺の美化活動としてごみ拾いを行っています。古紙回収前には個人購読の新聞を纏める作業にも参加して頂いています。 宅配ヨーグルトや訪問理美容も利用しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前相談時、契約時にかかりつけ医についての説明を行い、ご納得いただいてから訪問医療に同意して頂いています。外部受診が必要な際はご本人・ご家族様の意向に沿って行っています。	原則として協力医療機関をかかりつけ医とすることを定めています。内科及び、歯科医、眼科医の定期的な往診があります。受診結果は、家族に電話で報告をしたり、血液検査などの結果をコピーして渡すなど、家族との情報共有に努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、医療連携看護師の訪問があります。 ご利用者様の日々のご様子、往診内容をお伝えし協力医療機関への連携を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご家族様と対応させて頂いています。病院へは必要な情報共有を行っています。 新型コロナウイルス感染防止の為、面会停止の医療機関が多く電話でご様子を伺っています。 退院計画も必ず行っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時にご説明させて頂いています。 契約書の『重症化した場合の対応にかかわる指針』に沿ってお話しております。 ご利用者様の状況に応じて担当医・ご家族様と十分に話し合いを行って頂きご納得されたうえでご支援させて頂いております。	重度化した際は、医師から家族に病状などを説明し、家族の希望を確認しながら看取りの方針を共有しています。日中は、協力医療機関と、夜間は、往診可能な近隣のクリニックと連携し、24時間体制で電話での助言や往診を受けられる体制を構築しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	普通救命講習を全職員が取得しています。2年ごとに再講習を受け、緊急時には的確な行動が出来る様心がけています。また、講習に参加して職員は後日他職員の指導に当たってもらいスキルアップに努めています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を行っています。 消防署の協力を得て消火器の使い方やブラインド訓練を行っています。 新型コロナウイルス感染防止の為、訪問が難しい期間はF I G訓練を行っています。	事前に訓練の進行やシナリオなしで行うブラインド型訓練をもとに、火元の特定及び消火などを消防署の指導の下、実施しています。 図面上で火元及び消火器、避難経路を確認するF I G訓練も行っています。近隣4ヶ所のホームと合同避難訓練や救命講習時の協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の尊厳、お気持ちを優先しその方に合わせたお声掛けと環境をご提供しております。 お一人で過ごされる時間も大切にしています。	接遇では、家族が隣に居ても同様に対応できるか（言えるか）という視点を大切にした支援を心掛けています。呼称の原則は苗字に「さん」づけです。面会時の家族の言葉のかけ方も参考にし、不穏時にも本人の心に届く声掛けに努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定を促すようにお声掛けをしています。 二種一択などその方に合わせた方法を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご自身のペースで無理なく、お好みの環境に整えられる様支援しています。 無理なく穏やかに過ごして頂く事を優先しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類や装飾品、小物など危険性のない物で楽しんで頂いています。 女性の方はメイクやマニキュア、男性は髭剃りやノーズケアもお好みで行って頂いています。 衣類はご自身で選んで頂くか、一緒に選び選択して頂いています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しみになる環境づくりを心掛けています。 今は黙食が主になっていますので盛り付けを工夫し、日替わりのBGM、お好みを伺いイベントメニューやおやつを提供しています。	コロナ禍のため、利用者が手伝う機会は限られていますが、食事を楽しめる様に心掛けています。食事をワンプレートに盛り付けたり、手作りランチョンマットや目先の変った食器類での提供、裏庭で収穫した野菜の提供など、様々な工夫を凝らしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は記録し確認・把握を行っています。特に水分は摂取量が少なくなりやすいのでこまめに提供を行っています。 食事や食器は身体状態にも合わせて変更させて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、ご利用者様の状態に合わせたケアを行っています。ご自身では難しい方は介助させて頂き清潔を保っています。月に4回の歯科訪問があり、歯科衛生士・医師に口腔内の状況観察をし必要に応じて治療や義歯調整等を行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表にて個々の排泄パターンを把握・確認を行っています。ご利用者様のお気持ちを配慮しながら、その方に合った排泄ケアを行っています。 出来る限りトイレで排泄が行える様、定期的に声掛け・誘導を行っております。	トイレでの排泄に向け、一人ひとりの誘導のタイミングを把握し、2時間おき、2～3時間おき、3時間以上などと個々に応じた声掛けをしています。場面によっては小声での声掛けや人目に触れない様な工夫により尊厳に配慮した支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表にて排便の確認を行っています。 自然な排便を促せるように水分をこまめに提供しています。 ヨーグルトの宅配を利用されておられる方もおります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日入浴できるようになっています。 体調や安全面に配慮し気持ちよく入浴できるように支援しています。 体調により入浴できない時は清拭や足浴で対応しております。	各利用者は、2～3日おきに入浴しています。入浴時には職員と1対1でゆっくり話ができることを楽しみにしている利用者もいます。入浴の拒否に対しては無理強いせず、入浴剤の話題で誘うなどの工夫をしています。同性介助にも配慮しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ゆっくりと安心して休んで頂ける環境を提供しています。 室温や湿度、照明管理だけでなくリラクセスアロマや睡眠前の瞑想ヨガを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬支援時は服薬一覧表を確認しながら行っています。 健康管理表に薬情をファイルし職員全員が把握できるようにしております。 不明な点は医師・看護師・薬剤師に確認が取れる体制になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お得意な事、好きな事を担当して頂いています。やってみたいお気持ちがあれば得意な方と一緒に支援し、出来ることに変えていけるよう導いております。 ご趣味の作品はお披露目して頂いています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルス感染防止の為、外出は制限させて頂いております。 敷地内のみに限らせて頂いております。 家庭菜園のお世話に参加して頂いております。	外出制限の中、積極的に体を動かす機会の提供を工夫しています。インストラクターの社内資格を有するホーム長らがヨガやリズム体操を行っています。系列全事業所で行うリモート運動会後には、ホーム内の運動会も独自開催し、大いに体を動かす機会を作るよう工夫を凝らしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身では所持されておられません。 必要な時はいつでもご購入できる体制を整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様との文通をこまめにされている利用者様もおります。切手や封筒の管理をさせて頂いています。電話もご希望の時間を伺いお繋ぎしております。個人の携帯電話は通話時間にご配慮いただいております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には季節ごとの飾りつけをしております。ホール内階段にはイベント、誕生日の方の写真を飾っております。書やぬり絵などの作品は展示させて頂いています。	共用空間では、利用者は居心地の良い好みの場所で過ごし、食席の交代も自由です。それぞれ1階と2階に住む趣味の合う利用者同士が、いずれかのリビングで一緒に食事を楽しめる配慮もしています。管理者は、感染対策の研修を受講し、衛生管理面でも万全を期しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各フロアのテレビの前には大きめのソファを設置しています。ひなたぼっこや談話、テレビ鑑賞の際におくつろぎ頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際には使い慣れた馴染みのある私物をお持ちいただいております。居室内で対応できる大きさの家具やお気に入りの寝具も持ち込みできます。	各自がテレビや本棚、本、仏壇、神棚など好みの家具や品物を持ち込んでいます。ホームでは利用者が一人で過ごす時間も大切にしており、居室で塗り絵や編み物を楽しむ利用者もいます。手すりやサイドレールの消毒など感染対策も徹底しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各居室への名札や共有スペースの表示、プライバシー保護の為に小窓へのカーテンを付けております。扉を閉めるのが苦手な方へはカーテンで目隠しをしております。危険箇所へはクッション材や緩衝材を使用し安心と安全を提供致します。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	2022/2/21	✓	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	1Fスタッフステーション、2Fキッチンに掲示しています。 利用者様を笑顔にするためには職員が笑顔でいること。みんなで笑いあえることを目標にしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	本年度は新型コロナウイルス感染防止の為、敷地外にはほとんど出れていません。敷地内で外気浴や農園作業をしている時に、お会いできた地域の方へ積極的にご挨拶しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会への加入 リモートがほとんどですが地域緩和ケア、コピナビセミナー等へ出席し情報共有を行いホームでの支援に役立てています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	本年度は新型コロナウイルス感染防止の為、開催できておりませんが開催予定月には活動状況報告書を書く担当の方々へ郵送し報告とさせていただいております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	必要時は感染対策を十分に行ったうえで区役所に出向いています。 生活保護を受けられている方々については支援担当者と電話にて情報共有を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	年4回の身体拘束委員会、研修は年2回行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年4回の身体拘束委員会とは別に、高齢者虐待防止委員会を開催しております。研修は年1回行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要な際はすぐに対応できるように体制を整えております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時に十分に時間を取り、説明させて頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	本年度は新型コロナウイルス感染防止の為、開催を見合わせております。少なくとも隔月にはお電話にて個別に連絡をさせて頂いてます。小さなことでも変化があればその都度お伝えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員全員が情報共有できる環境を目指しています。 新型コロナウイルス感染防止の為、全員での会議は難しいので各フロア代表者2名ずつで情報交換しています。議事録は全員が閲覧出来る様にしています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個別に面談を行っています。 出退勤時には必ず声をかけコミュニケーションを図るようにしています。 仕事だけでなくプライベートな話もしやすい雰囲気を作る様に心掛けています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修予定表や届いたFAXを掲示していません。 社内だけでなく市町村で行う研修も回覧しています。日々の支援の中では、その都度アドバイスをしたり個別にも指導しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	区で行われている地域密着型連絡会に参加しています。 区同士の合同連絡会や横浜市の連絡会にも出来る限り参加し情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に面談に伺わせて頂き、ご本人・ご家族様と対話させて頂いています。 入居に対し安心して頂けるために重部員な情報を頂ける様にしています。 ご入居後も大きな変化なく過ごして頂ける様に支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	お問い合わせがあった際には入居までの経緯やグループホームでのご生活について順を追ってお話をさせて頂いております。ご不明な点はお電話でもご連絡を頂き安心して頂ける様にご説明させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居当時は慣れない環境で戸惑う事もあると思いますので、お気持ちを汲み取りながら接しています。他者様とのコミュニケーションを図る際は橋渡しができるように支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々関わりながら、どの様なお気持ちか受け止められる様に接しています。ご趣味やお得意な事、やってみたいこと等を伺い一緒に楽しんだりチャレンジできる関係を築いていっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月お送りする『宮沢3だより』や個別にお送りする『ひとこと通信』で様子をお伝えしています。面会が難しかった間はお電話でもお伝えしていました。差し入れが届いたときはご本人様と一緒に撮影しは絵葉書にしてお送りしています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ご家族以外との面会が叶わず、文通や電話にて交流をお願いしております。外出も控えて頂いておりますが、ご納得頂ける様にゆっくり説明しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	外出がままならない分、お互いのフロアを行き来することで交流を図っています。 合同レクリエーションも月に2～3回行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	今後のご生活の中で必要な事があればご連絡を頂ける様にしています。 退去後に知り合いに方の入居相談のご連絡を頂いたこともあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	おひとりごとのコミュニケーションを心掛けています。会話の中からもご意向を伺いお子持ちに沿った支援を行っています。伝えることが困難な際は表情の中からもお気持ちを汲み取れるようにしています。得た情報は職員全員で共有しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談でご本人だけでなく、ご家族様や医療関係から頂いた情報を共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴や診療情報を把握し、健康管理表や生活記録からも日々の状況や変化に気付ける様に申し送りを行い情報共有しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月カンファレンスを開催し状況把握やケアの方向性を話し合い支援を行っています。 介護計画作成時にはご本人、ご家族様からの意向を伺い作成しております。 心身の状況変化が見られた際は都度見直しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は生活記録、健康状態は健康管理表に記載し職員間で情報共有を行っています。 申し送りの内容状況によって介護計画書の見直しも行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアの訪問を見合わせて頂いています。 法人内でのシニアセラピー、リモートを使っての体操やカルチャー、音楽鑑賞などご要望に応じられるように対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ホーム周辺の美化活動としてごみ拾いを行っています。古紙回収前には個人購読の新聞を纏める作業にも参加して頂いています。 宅配ヨーグルトや訪問理美容も利用しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前相談時、契約時にかかりつけ医についての説明を行い、ご納得いただいてから訪問医療に同意して頂いています。外部受診が必要な際はご本人・ご家族様の意向に沿って行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、医療連携看護師の訪問があります。 ご利用者様の日々のご様子、往診内容をお伝えし協力医療機関への連携を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご家族様と対応させて頂いています。病院へは必要な情報共有を行っています。 新型コロナウイルス感染防止の為、面会停止の医療機関が多く電話でご様子を伺っています。 退院計画も必ず行っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時にご説明させて頂いています。 契約書の『重症化した場合の対応にかかわる指針』に沿ってお話しております。 ご利用者様の状況に応じて担当医・ご家族様と十分に話し合いを行って頂きご納得されたうえでご支援させて頂いています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	普通救命講習を全職員が取得しています。2年ごとに再講習を受け、緊急時には的確な行動が出来る様心がけています。また、講習に参加して職員は後日他職員の指導に当たってもらいスキルアップに努めています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を行っています。 消防署の協力を得て消火器の使い方やブラインド訓練を行っています。 新型コロナウイルス感染防止の為、訪問が難しい期間はF I G訓練を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の尊厳、お気持ちを優先しその方に合わせたお声掛けと環境をご提供しております。 お一人で過ごされる時間も大切にしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定を促すようにお声掛けをしています。 二種一択などその方に合わせた方法を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご自身のペースで無理なく、お好みの環境に整えられる様支援しています。 無理なく穏やかに過ごして頂く事を優先しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類や装飾品、小物など危険性のない物で楽しんで頂いています。 女性の方はメイクやマニキュア、男性は髭剃りやノーズケアもお好みで行って頂いています。 衣類はご自身で選んで頂くか、一緒に選び選択して頂いています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しみになる環境づくりを心掛けています。 今は黙食が主になっていますので盛り付けを工夫し、日替わりのBGM、お好みを伺いイベントメニューやおやつを提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は記録し確認・把握を行っています。特に水分は摂取量が少なくなりやすいのでこまめに提供を行っています。 食事や食器は身体状態にも合わせて変更させて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、ご利用者様の状態に合わせたケアを行っています。ご自身では難しい方は介助させて頂き清潔を保っています。月に4回の歯科訪問があり、歯科衛生士・医師に口腔内の状況観察をし必要に応じて治療や義歯調整等を行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表にて個々の排泄パターンを把握・確認を行っています。ご利用者様のお気持ちを配慮しながら、その方に合った排泄ケアを行っています。 出来る限りトイレで排泄が行える様、定期的に声掛け・誘導を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表にて排便の確認を行っています。 自然な排便を促せるように水分をこまめに提供しています。 ヨーグルトの宅配を利用されておられる方もおります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日入浴できるようになっています。 体調や安全面に配慮し気持ちよく入浴できるように支援しています。 体調により入浴できない時は清拭や足浴で対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ゆっくりと安心して休んで頂ける環境を提供しています。 室温や湿度、照明管理だけでなくリラク্সアロマや睡眠前の瞑想ヨガを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬支援時は服薬一覧表を確認しながら行っています。 健康管理表に薬情をファイルし職員全員が把握できるようにしております。 不明な点は医師・看護師・薬剤師に確認が取れる体制になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お得意な事、好きな事を担当して頂いています。やってみたいお気持ちがあれば得意な方と一緒に支援し、出来ることに変えていけるよう導いております。 ご趣味の作品はお披露目をして頂いています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルス感染防止の為、外出は制限させて頂いております。 敷地内のみに限らせて頂いています。 家庭菜園のお世話に参加して頂いています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身では所持されておられません。 必要な時はいつでもご購入できる体制を整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様との文通をこまめにされている利用者様もおります。切手や封筒の管理をさせて頂いています。電話もご希望の時間を伺いお繋ぎしております。個人の携帯電話は通話時間にご配慮いただいております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には季節ごとの飾りつけをしております。ホール内階段にはイベント、誕生月の方の写真を飾っております。書やぬり絵などの作品は展示させて頂いています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各フロアのテレビの前には大きめのソファを設置しています。ひなたぼっこや談話、テレビ鑑賞の際におくつろぎ頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際には使い慣れた馴染みのある私物をお持ちいただいております。居室内で対応できる大きさの家具やお気に入りの寝具も持ち込みできます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各居室への名札や共有スペースの表示、プライバシー保護の為に小窓へのカーテンを付けております。扉を閉めるのが苦手な方へはカーテンで目隠しをしております。危険箇所へはクッション材や緩衝材を使用し安心と安全を提供致します。		

2021年度

事業所名 グループホームみんなの家・横浜宮沢3

作成日： 2022年 2月 16日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	学生との関わり合いを持ちたいと思い、近隣の支援学校に交流を求めていたが新型コロナウイルスの影響により困難。交流会計画は保留になっている。	合同イベントの開催（年に1～2回）	新型コロナウイルス感染防止策が必要と思うので学校行事のリモート中継等、密にならずに関わり合える方法を思案中	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月